

アンティクレイア(Anticlea)はオデュッセウスの母親である。オデュッセウスは彼女と夫ラエルテスの間にできた子であるが、彼女とシシュポスの子という説もある。

系譜

- 父はアウトリュコス、母はアンピテエ。
- 夫はラエルテス、子はオデュッセウス。
 - (異説) 結婚前にシシュポスと交わってオデュッセウスを生んだ。

解説

- 彼女は死後、冥府に降りてきた息子オデュッセウスと出会う。彼女は死因を息子に訊かれ、息子を待ちわびる悲しさがもとで死んだのだと答えた。(第11歌)
- 彼女はヘルメスの孫娘でもある。彼女の父アウトリュコスの父親がヘルメスである。
- もっと後の文献によると、オデュッセウスは彼女とシシュポスの間にできた子である。それは次のような話である。悪名高い盗賊のアウトリュコスは、シシュポスの牛を盗んだ。シシュポスはアウトリュコスのもとを訪れたとき、自分の盗まれた牛がいるのを知った。シシュポスは彼の娘アンティクレイアを誘惑(または暴行)した。オデュッセウスはこの時できた子だが、これはアンティクレイアがラエルテスと結婚する前のことである。